
アブラゼミの一生

カルタ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

アブラゼミの一生

【Nコード】

N7636N

【作者名】

カルタ

【あらすじ】

アブラゼミの地上での七日を、アブラゼミの視点で書いた物語！
こんな題名でもコメディーです！

（前書き）

またまたコメディイを書いたカルタです！
アブラゼミの可笑しくも悲しい一生をどうぞ！！

俺はアブラゼミ、名前はまだ無い。これから付く予定も無い。
だんだん暑くなってきた七月下旬。人間達が寝静まった深夜、俺
は羽化を終えた。

羽が乾いて落ち着き、改めて思う。

俺は羽化に成功した。いわば勝ち組だ！
フハハハハッ、崇める愚ゼミ共！！

《調子に乗ること十分》

…………ハッ。

そうだ、こんなことしてる場合じゃない。
残りの人生は約七日間。その間に俺は、俺は……

子孫を残さなければならんだっ！！

……そこっ、『このエロ野郎』とか言わない！
本能なんだよ、しょうがないだろ！
謝れ、子孫残して即死ぬ俺に謝れよう！

《錯乱すること十分》

…………ハッ。

また時間を無駄にしてしまった、って眩しっ！？
うわっ、もう朝かよ！
……涼しくてやる気出ねえな。
もっと、暑くなれよ！

羽化で疲れたし昼まで寝よう。

そして起きると、辺りは闇に包まれていた。端的に言おう、夜だった。

……………畜生オオ~~~~!!

なんてこった、人生の七分の一終了だと!?

俺まだ鳴いてないよ? 雄なのに俺まだ鳴いてないよ?

今から寝れば起きれる、そう信じて眠りに着く。

^{ライバル}仲間達の声が聞こえる。暑い、眩しい。

二日目、起きたのは昼だった。

腹が減ったので昼食を食べる。元気百倍アブラゼミ!

さて、俺も鳴くか!

俺「ジジジジジジ」

ミンミン「ミンミンミンミン」

ツクツク「ツクツクホーシツクツクホーシ」

俺「ジジジジジジジジ」

……………さて、気付いたことが一つある。それは、

アブラゼミの鳴き声地味じゃね!?

畜生、なんで『ジ』しか出ねえんだよ!

何だこの壊れた楽器みたいな発音器官は?

オイッ、そののミンミンゼミ、今すぐどや顔をやめろ！

結局夕方まで落ち込み、気付いた……

『ジ』しか出なくても雌来るじゃん。

三日目、雨。

昨日の反省を活かして頑張ろうと思っていたのに拍子抜けした。

その後、夏はやはり雨が多い。四日目と五日目も雨。

そして、六日目。

待ちに待った快晴！

他のセミ達もやる気満々で朝から鳴いている。

だが、こういう日こそ要注意だ。なぜなら……

「ジジジジッ、ジージーッ！！」

くそっ、もう被害者が！

そう、今は夏休み。つまり、ヤツらの……人間達による狩りが始まるのだ！！

無差別に捕獲し、何もせず逃がす。

そんな人間達に二つ言いたい。

貴重な時間を返せ！そして、何がしたいんだ！？

捕まえ、籠に詰め込み、何もせず逃がす。フッ、意味が分からない。

とりあえず俺は捕まらないように……

「やった、十匹目ゲット！」

なん……だと……？

気付いた時にはもう網に包囲されていた。

だが、このまま終わる俺ではない！

対人間用ビーム、チャージ開始。50%、80%、100%！

人間の指に摘まれた瞬間、俺は……

お○っこ（ビーム）を発射した。

「うわっ、おし○こしやがった！」

へっ、ざまあみろ！

人間から逃げ切り、疲れたのもう寝た。

七日目、体力がほとんど無い。これは、今日までだな……。

最後の日、目的達成の為に鳴きつづけた。

夕方、もう鳴く気力も無い。

夕日を見ながら思う。

ああ、残念だ。

……でも、地上にこれで良かった。

足から力が抜け、地面に落ちる途中、意識が途切れた。

（後書き）

カルタの短編第三弾、いかがでしたか？
とうとう主役が人間を離れました（笑）

また皆さんに楽しんでいただけたことを願いつつ、これにて後書き
終わります！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7636n/>

アブラゼミの一生

2011年5月28日19時43分発行